

# 美川っ子

R3. 10. 21 文責 大達高弘

## 「ありがとうの花」を聞きながら

美川小学校では毎朝の放送で、今月の歌が流れ、どの学級でもみんなで合唱しています。コロナ禍のため、マスクをし、あまり大きな声で歌うことはできませんが、みんなの歌声で気持ちよく一日をスタートしています。

その今月の歌ですが、10月は「ありがとうの花」という歌です。1番の歌詞をご紹介します。

### ありがとうの花

ありがとうっていったら みんながわらってる  
 そのかおがうれしくて なんどもありがとう  
 まちじゅうにさいてる ありがとうのはな  
 かげにふかれ あしたにとんでいく  
 ありがとうの はながさくよ  
 きみのまちにも ほらいつか  
 ありがとうの はながさくよ  
 みんなが わらってるよ

私はこの歌詞を初めて聞いた時、目の前に77人の美川っ子が満面の笑みを浮かべ、みんなで笑っている場面が目には浮かびました。そして、「そうだ、美川小学校をこんな学校にしたい！！」と思ったのです。そしてさらに、美川の町が、こんな風に笑顔溢れる町であるといいなあとも思いました。

【ありがとう】という言葉はいろいろな場面で使われますが、その際、その【ありがとう】を伝える相手がいるはずです。相手の優しさや思いやりに触れ、それに対するお礼・感謝の気持ちを表すために、この【ありがとう】という言葉を使っているように思います。そう考えると、【ありがとう】が溢れている場所というのは、たくさんの優しさや思いやりが溢れている場所ということになります。目を閉じて、【ありがとう】が溢れている場面を想像してみてください。そこにはたくさんの人がいて、みんなにこにこ笑っていませんか。みんなが幸せそうな顔をしていませんか。心が温かくなりませんか。美川小学校を、美川の町を、そんな【ありがとう】の溢れる場所にしたい、そして、そのためにも、まずは自分から【ありがとう】がきちんとと言える人でありたいと思います。

誰かが自分に何かをしてくれるのは、決して当たり前のことではなく、自分を大切に思っていてくれるから、自分を大切にしてくれているから……。そんな風に考えたら、この【ありがとう】という素敵な言葉が自然に口から出るような気がします。

【ありがとうの花】が咲きほこり、それを美川の町全体にお届けできるような学校を目指して、子どもたちと一緒に頑張ります。

## 【学びの秋】を迎えて

朝夕の冷え込みに、いつの間にか秋がきたことを実感します。日中はまだまだ気温が高く、暑ささえ感じることもありますが、秋ならではの食材や山の木々の色づきなどから、秋を感じます。

秋と言えば、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋など何をするにも気持ちのよい季節ですが、やはり学校は「学びの秋」でありたいと考えます。残念ながら、コロナ禍のため、例年行われている小学校体操大会や小中連合音楽祭などの対外行事は中止になりました。そこで、通常の授業時間を利用してお互いの成果を発表し合ったり、みんなで力を合わせて何かを創り上げるような活動に取り組んだりしています。

美川小学校では、【知・徳・体の調和のとれた、心豊かで自主性と協同性に富んだ児童の育成】を学校教育目標に掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。そして、校内における研究においては、「主体的・対話的な授業を通して、学ぶ意欲を高め、夢や希望に向かって努力する子どもの育成 ～国語科における効果的な ICT の活用」を研究主題とし、授業改善に取り組んでいます。「学びの秋」を深めている子どもたちの様子をご紹介します。

### 《主体的な学び》

課題に対して、まずはしっかりと自分なりの意見をもつことが大切です。それを書き記したり、発表によって友達に伝えたりします。自ら進んで課題解決に向かう子どもたちの姿は真剣そのもので、とても輝いています。



一人一人に貸与されたタブレットも主体的な学びを進める上で、大変有効です。インターネットにつないで課題解決に必要な情報を集めたり、タブレットドリルで基礎学力を高めたりします。



### 《対話的な学び》

コロナ禍ではありますが、やはり学校での学習において、他者との対話は欠かせません。自分の思いを伝えたり、友達の意見を聞いて自分の考えを深めたりします。また、対話を通して、友達の意見と折り合いをつけることも学んでいきます。



聞くだけの受け身の学習ではなく、自分なりの考えをもち、意見を交わし、まとめ、深めていく学習に積極的に取り組んでいます。



「わかった」「できた」という喜びは、学習を進める上で、大きな原動力になります。そして、学校は、そういう喜びを仲間と共有することができる場所です。一人一人の学びを大切にしながら、共に高め合い、共に伸びていくことができる、そういう美川小学校でありたいと願っています。

## 幼小中合同稲刈り（5年生）

9月22日（水）、暑いぐらいの晴天のもと、5年生児童14名が四中の田んぼで行われた稲刈りに参加しました。5月に幼稚園児・中学生と一緒に田植えをさせていただいたあの田んぼです。

今年度も、幼稚園・小学校・中学校の3校種の子どもたちが一堂に会して稲刈りをしました。合同運動会もそうですが、こうして年齢の壁を越え、校種を越えて、一緒に活動ができるというのがこの四中校区の特色であり、また素晴らしさだと思います。さらに、多くの地域ボランティアの皆様のお力をお借りし、すぐ身近で人生のロールモデルを感じながら、活動ができるというのはふるさと教育・キャリア教育の観点からも非常に有意義なことです。

今年度も、地域ボランティアの皆様には、事前の稲はでの準備からお世話になりました。例年、当たり前のようにお世話をしていただいているわけですが、それは決して当たり前ではなく、美川の宝である子どもたちを思う、地域の皆様の溢れる優しさあってこそだと思っております。本当にありがとうございました。

今年度は例年以上に豊作だったようで、稲刈りも本当に大変でしたが、活動後の5年生の表情は爽やかで、輝いていました。



## 幼小中合同避難訓練

10月12日（火）、2学期の避難訓練を行いました。今回は初めて幼小中の合同避難訓練として実施しました。通常の避難訓練の場合は、校庭にある第一避難場所まで避難して終わるのですが、今回は地震発生にともなう津波、さらには大雨による土砂災害を想定し、第一避難場所から第二避難場所へ移動する訓練を行いました。立地条件や市の防災計画により、第二避難場所は四中の2階となっています。子どもたちは初めて経験する第二避難場所への移動でしたが、全員が黙って、素早く避難することができました。避難の際の合言葉【おはしも】の徹底はもちろん、とにかく全員が本気で取り組みました。

学校は絶対的に安心・安全な場所ではなくてはなりません。これからも、教職員と子どもたちの全員で、安全最優先の学校づくりに努めてまいります。



## 【読書の秋】

コロナ禍ではありますが、読み聞かせボランティアの皆様にお世話になり、毎週水曜日に読み聞かせをしていただいています。3密を避けるために、距離をしっかりと自分の学習机でお話を聞きます。距離をとることで本が見えにくくなりますが、実物投影機などのICT機器も活用しながら、読み聞かせをしていただいています。子どもたちの学びを止めない、子どもたちに本の世界の楽しさを味わってほしい、そういうボランティアの皆様の思いに支えられ、子どもたちは【読書の秋】を楽しんでいます。読み聞かせボランティアの皆様、本当にありがとうございます。



## 10月授業公開日・PTA教育講演会

10月14日（木）は10月の授業公開日でした。今回は、人権・同和教育の授業公開として、本校の人権・同和教育目標「すべての児童の進路保障に努めるとともに、人権感覚を高め、身近な差別をなくしていこうとする実践力のある子どもを育成する」を念頭において、授業を行いました。教科や内容は学年によって異なりましたが、子どもたちが、この日の学びを自身の日常生活に結び付けていってくれることを期待します。また授業公開後に行われたPTA教育講演会は、浜田警察署様にお世話になり、メディアとの付き合い方に視点を当てた講演を聞きました。日常生活の中で、身近にあることが当たり前になった様々なメディアとどう付き合っていくのか、大人も子どもも、それぞれにしっかりと考えるよい機会になりました。自分も、自分以外の人も大切にするという視点を忘れずにメディアという道具を正しく使用していけることができるよう、これからも情報モラル教育を含めたメディア教育をしっかりと進めていきたいと考えます。



## 11月の行事予定

- 4日（木）全校朝礼、就学時健診、外国語（支援員）
- 11日（木）外国語（ALT）
- 13日（土）授業公開日（学習の成果発表）
- 15日（月）振替休業日
- 16日（火）全校テスト（国）、安全点検
- 18日（木）外国語（支援員）
- 19日（金）クラブ⑥
- 24日（水）スクールカウンセラー来校日
- 25日（水）外国語（ALT）
- 26日（金）マラソン記録会（小中合同）②
- 30日（火）全校テスト（算）、ラブック号

